

入札監理小委員会の審議結果報告

水産物流通調査業務

農林水産省(水産庁)の水産物流通調査業務について、当該民間競争入札実施要項(案)を入札監理小委員会において審議したので、その結果(主な論点と対応)を以下のとおり報告する。

1. 事業の概要及びこれまでの経緯について

- 全国の主要漁港における主要品目の水揚量、卸売価格や水産物の在庫量等、水産物の需給・価格の動向を把握するための調査・情報収集を行うもの。
- 今回が市場化テスト2期目(H30.4~H33.3)。1期目(H27.4~H30.3)は2者応札となったものの、予定価格内の事業者が過年度から継続受託している一般社団法人((一社)漁業情報サービスセンター)のみであること等を踏まえ、継続となった。

2. 事業の評価を踏まえた対応について

【論点】

- 前回の民間競争入札実施業務に対する総務省評価を踏まえ、必要な検討がなされているか。

①【総合評価の評価項目について】

業務の質を確保しつつ、本業務に関するノウハウが蓄積された現行事業者と、その他の事業者との間の公平な競争に資する見直しが必要ではないか。

(評価時の例示)

- ・ 総合評価における評価項目のうち、専門的なノウハウの有無に関連する加点ウェイトの見直し
- ・ 調査方法に関する改善提案・事業者の創意工夫を促す評価項目の設定

【対応】

評価時に指摘された点について、例示された点に沿って対応した。(資料 2-2 P17)

【論点】

- ②【応札しなかった事業者へのヒアリングを行い、情報開示等の面での改善の余地を確認すべきではないか。】

【対応】

前回、入札には参加したものの、落札できなかった事業者にヒアリングを実施したところ、「年間・月別・日別で調査対象区が異なると勘違いしていたが、月別・日別は年間の調査対象区の内数ということなので、それが分かればもう少し安い価格で入札できた」とのことであった。

これを踏まえ、過年度の調査区一覧が別紙のどこを見れば分かるかを実施要項本文に追記(資料 2-2 P2)するとともに、入札説明会において丁寧に説明する予定とのことである。

3. 実施要項（案）の審議結果について

【論点】

- サーバのスペック等について詳細に記載しているが、入札に参加しやすくするためにはサーバのスペック等については例示・参考等に止めるべきではないか。

【対応】

小委員会での指摘のとおり参考例示に止めるよう修正した。（資料 2-2 P5）

4. パブリック・コメントについて

- 29 年 9 月 15 日～29 日まで意見募集を行ったが、意見は寄せられなかった。

以 上